

厚生省令第15号適合 繊維配合ポリマーセメントモルタル

JWプライマー 繊維配合

JWプライマーは、上水道コンクリート構造物の保護・下地調整用に開発した繊維配合型の環境配慮性（無害性）ポリマーセメントモルタルです。特殊セメントに補強繊維を配合したことで、ひび割れ低減効果による長寿命化と溶出性が低く耐水性が高いエマルジョンを組み合わせたことで、ノンポリマー製品に比べてドライアウトのリスクを低減し、高い接着安定性を実現させました。

厚生省令第15号に適合しておりますので、上水道インフラの維持にお役立て下さい。

特長

- ▶ **適合規格** 厚生省告示第45号による浸出試験の結果、厚生労働省令第15号水道施設の技術的基準を定める省令第1条17.ハに適合しています。
- ▶ **汎用性** 塗り厚によりタイプが選択できるポリマーセメントモルタル。汎用性が求められる上水道施設の仕様にも対応できます。
- ▶ **接着性** 弊社特殊配合技術による最適な保水性能に加え、シーラー処理材であるERシーラーを併用することでドライアウトのリスクを低減するため、長期にわたり安定した接着性が得られます。
- ▶ **耐久性** 材令28日で45N/mm²以上の圧縮強度を発現するため、コンクリート同等以上の強度を有します。長期にわたり躯体コンクリートとの一体性が図れるため、安定した耐久性が得られます。

用途

- ▶ 上水道施設（取水場、沈砂池、導水ポンプ場など）のコンクリート構造物の保護・下地調整に

配合及び材料使用量

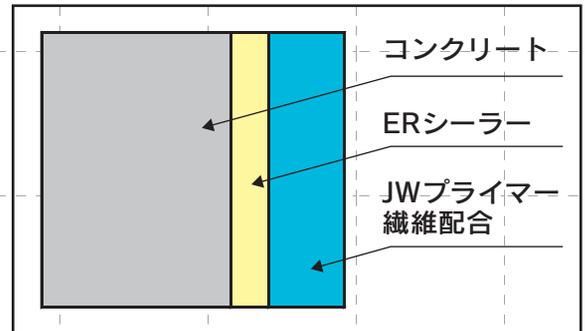
● JWプライマー 繊維配合

タイプ	JWプライマー(シゴキ)	JWプライマー(標準)	JWプライマー(厚塗り)
標準塗厚	1mm~3mm	2mm~10mm	5mm~20mm
荷姿(配合)	粉体	20kg	20kg
	混和液	0.8kg	0.8kg
	水	2.8~3.6kg	2.2~3.0kg
材料使用量別(kg/m ²)	1mm	1.62	-
	2mm	3.24	3.45
	3mm	4.87	5.18
	5mm	-	8.63
	10mm	-	17.26
	20mm	-	38.27
練上り量	12.82ℓ	12.05ℓ	10.87ℓ
積算比重	1.622	1.726	1.914
1m ² 使用量	78セット	83セット	92セット

● ERシーラー

ERシーラー	水	m ² 使用量	施工面積
18kg(1)	27kg(1.5)	0.2kg (積算0.08kg)	225m ²
4kg(1)	6kg(1.5)		50m ²

● 施工図



● 荷姿

- JWプライマー繊維配合(20.8kgセット) ERシーラー
- ・粉体 20kg
 - ・JW混和液 0.8kg
 - ・18kg缶
 - ・4kgポリ容器



施工要領

1 下地洗浄

コンクリート下地の浮き、脆弱部、レタンス、油類などを高圧洗浄機などで丁寧に洗浄し、健全なコンクリート面を露出させる。

2 吸水調整

乾燥したコンクリート下地の吸水により材料の伸びが悪くなる上、ドライアウトを起こす可能性があるため、ERシーラーでシーラー処理を行う。

(シーラー処理配合 ERシーラー1 : 水1.5 塗布量0.2kg/m²)

※シーラー処理が不十分であるとドライアウトを防止できないことがあります。吸水が激しいコンクリート下地の場合はシーラー処理を2回行うなどの対策をし、吸水調整ができることを確認してください。

3 混練

規定配合で計量し、ハンドミキサーやモルタルミキサーで混練する。(低速ミキサー推奨)

攪拌時間の目安は1~2分程度※とする。材料が均一になったら過度な攪拌はしない。混練量は、JWプライマー繊維配合練り上がり後30分以内に使い切れる量とする。

※低速ミキサー使用、混練量1/2~1セット以上の場合。攪拌時間はミキサーの種類、回転数や混練量等により調整して下さい。

4 塗り付け

攪拌したJWプライマー繊維配合を所定の方法で塗り付ける。

(塗布厚: 標準2~10mm、シゴキ1~3mm、厚塗り5~20mm)

5 養生

仕上材塗布まで、夏期で7日以上、冬期で14日以上養生する。

※加温等により養生期間の短縮を検討する場合は当社営業までご相談下さい。

●使用上の注意

- ご使用に際してはSDS(安全データシート)をよく読んで下さい。
- SDSの入手は、購入先にご依頼下さい。
- 本製品は専用樹脂およびセメント系無機質粉体の組み合わせで形成されています。製品中のセメント成分の性質上、現場条件によっては白華現象(含有成分の析出)が起こる可能性があります。(施工後、完全硬化前に結露、雨水等の水分が付着しないように適切な養生を行って下さい。)
- JWプライマーに、専用樹脂であるJW混和液以外の樹脂は、使用しないで下さい。
- 他のセメント、骨材、混和材の混入は避けて下さい。
- シーラー処理が不十分であるとドライアウトを防止できないことがあります。吸水の激しい下地は特に、ERシーラー乾燥後水を吹きかけて、すぐに吸水しないことを確認して下さい。
- 材料攪拌の際、低速ミキサーの使用を推奨します。(高速ミキサーでは、エアを多く巻き込むため、物性が低下することがあります。)
- 混練には、アルミニウム製の羽根は絶対に使用しないで下さい。
- 気温が5℃以下になる場合は施工を避けて下さい。
- 高温時、練り上がり温度は35℃以下(望ましくは30℃以下)になるように冷水等で調整して下さい。
- 粉体は湿度の低い場所で、樹脂は直射日光を避け5~35℃で保管して下さい。
- 練り水を過剰に加えないで下さい。(物性が低下します)
- 一度練った材料の練り返しは絶対にしないで下さい。(物性が低下します)
- 低温時は凍害の恐れがありますので、採暖やシート養生を行って下さい。
- 長時間の直射日光が当たる場合や強風の場合はシート養生を行って下さい。
- 練り水は水道水水質同等のものを使用し、洗剤の使用は異常硬化の原因になりますので絶対に使用しないで下さい。
- 廃棄する場合は、許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託して下さい。
- 一旦開封した製品は、即日中に使い切ってください。
- 万一、目に入った場合は速やかに多量の清水で洗浄し、直ちに専門医の診断を受けて下さい。
- 飲み込んだ場合は、無理に吐かせず、口の中を洗浄後、医療処置を受けて下さい。
- 皮膚に付着した場合は、直ちに多量の清水で洗い落とし、湿疹や炎症の兆候が見られる場合は医師の治療を受けて下さい。
- 閉所で使用する場合は換気を十分に行って下さい。

性能

試験項目	材令	JWプライマー繊維配合			試験方法
		シゴキ	標準	厚塗り	
圧縮強度 (N/mm ²)	7日	17.9	27.5	37.4	JIS R 5201 (セメントの物理試験方法)
	28日	41.4	57.4	65.2	
曲げ強度 (N/mm ²)	7日	3.7	4.6	4.7	JIS R 5201 (セメントの物理試験方法)
	28日	8.3	10.7	10.7	
接着強度 (N/mm ²)	7日	2.6	2.6	2.6	建研式 (ERシーラー0.2kg/m ² 量塗布)
	28日	2.7	2.8	2.8	

注) 上記は、当社実験室で試験を行った結果であり、品質保証値ではありません。

- 本資料の技術情報は、当社の試験・研究に基づいたもので、信頼しうる情報と考えられません。しかし、記載の諸性能および特性などは、施工条件などにより本資料と異なる結果を生じることがあります。
- 本資料の記載事項は、予告なしに変更する場合がありますので、予めご了承下さい。

代理店



特殊セメントの分野を大きくリードする

エレホン・化成工業株式会社
EREWHON

<http://www.erewhon.co.jp/>

●本社工場	〒870-0141	大分県大分市三川新町1-2-23	TEL (097) 552-2251	FAX (097) 552-2213
●いわき工場	〒979-3112	福島県いわき市小川町上平字中平30-3	TEL (0246) 83-2600	FAX (0246) 83-2677
●大阪支店	〒532-0003	大阪府大阪市淀川区宮原5-1-3	TEL (06) 6842-7500	FAX (06) 6842-7544
●福岡支店	〒814-0151	福岡県福岡市城南区堤1-9-10	TEL (092) 874-6990	FAX (092) 862-6398
●関東支店	〒224-0003	神奈川県横浜市都筑区中川中央2-5-13-3F	TEL (045) 534-9656	FAX (045) 534-9657
●仙台支店	〒984-0012	宮城県仙台市若林区六丁の目中町6-2	TEL (022) 287-7221	FAX (022) 287-7222
●名古屋支店	〒463-0048	愛知県名古屋守山区小幡南3-5-21	TEL (052) 758-1889	FAX (052) 758-1890
●札幌営業所	〒007-0805	北海道札幌市東区東苗穂5条3-2-32	TEL (011) 786-6051	FAX (011) 786-6052
●新潟営業所	〒950-0963	新潟県新潟市中央区南出島1-10-23	TEL (025) 280-9282	FAX (025) 283-6262
●静岡営業所	〒422-8058	静岡県静岡市駿河区中原743-1-1F	TEL (054) 270-9380	FAX (054) 270-9381
●北陸営業所	〒920-0027	石川県金沢市駅西新町2-11-25	TEL (076) 204-9417	FAX (076) 204-9418
●広島営業所	〒739-1731	広島県広島市安佐北区落合2-41-22	TEL (082) 841-2350	FAX (082) 841-2360
●熊本営業所	〒861-8045	熊本県熊本市東区小山2-14-47	TEL 050-3399-7419	FAX (096) 388-6227
●鹿児島営業所	〒890-0082	鹿児島県鹿児島市紫原1-51-25	TEL (099) 284-0533	FAX (099) 284-0535
●エレホン・技研本社	〒781-0270	高知県高知市長浜5226-13	TEL (088) 805-2332	FAX (088) 841-2322
●エレホン・技研松山営業所	〒791-8042	愛媛県松山市南吉田町1450-6	TEL (089) 974-8225	FAX (089) 974-8230